

| 森林業経営学科で学ぶ

森林が生み出す可能性を、
多様なビジネスとして展開できる経営者へ。

森林の豊かな力を活用して、 新しいビジネスを展開しよう

森林が多様な価値を持っていることに誰もが気づいています。木材やきのこなどの生産に加え、美しい景観を形づくるとともに、湯水や洪水の緩和、山地災害の防止、地球温暖化防止などの生活環境の保全、レクリエーションの場の提供など様々な機能を持っています。山林が私たちの暮らしや健康を支え、色や文化の源泉となっていることが評価されるようになったのです。

今後は、持続可能な開発目標 (SDGs) などの持続可能性や脱炭素、生物多様性の保全などの直面する課題に対応するとともに、木材供給を主体とした「林業」という枠を超えて、森林の様々な恵みをフル活用したビジネスである「森林業」を創出・展開させることが求められています。

森林業経営学科では、演習林や国有林、多彩な経営体における実習などを通して、国内外の先進的な取組みに接する機会が豊富にあります。豊かな森が溢れている山形から新しいビジネスとしての「森林業」のフロントランナーを目指しましょう！

地域とともに成長する 交流の場として

最上地域ではじめての4年制大学である本学では、「森林業」の挑戦を通じて、地域の皆さんとともに、SDGsや持続可能な地域づくりに貢献していきます。国内外の多彩な人材を招いた講演会などの企画も継続的に実施してまいります。

東北農林専門職大学
農林業経営学部
森林業経営学科 学科長

柴田 晋吾
Shingo Shibata

博士(農学)(東京大学)
専門分野:環境資源管理政策

国連食糧農業機関 (FAO)、上智大学教授・大学院地球環境学研究所委員長、ケンブリッジ大学客員研究員等を歴任。参加・協働による政策形成や PES (生態系サービスへの支払い) 等を研究。「森林業」の草分けとしても知られる。著書: 世界の森からSDGs-森と共生し、森とつながる ほか。

先生 × 学生



現場で人の声を聴き、体験し、 自分の頭で考えてほしい。

国土の約7割が森林の日本では、森林や林業は木材生産だけでなく、自然環境や公益的機能の観点からも、私たちが生きていく上で欠かせないものです。皆さんのような若い世代がそれら学び、これからの環境を考え、次世代につないでいくことはとても意義深いことだと思います。

本学は実際の生産現場、企業、経営体で活躍できる人材の育成を目指しているところが特色です。できるだけ多くの現場に出向き、自分の目で見て、現場の人の声を聴き、体験を通じて体で感じ、自分の頭で考える。学生にはこれを繰り返しながら学んでほしいと考えます。実務家の教員も配置されていますから、実習を通じてスキルを身につけ、社会の問題を解決できるようになってくれるはずです。

森林業経営学科 講師 古澤 優佳

「森林業」という 新しい可能性に夢を託して。

高校生の時、最上地域に4年制の大学ができるという情報に触れたことが興味を持つきっかけです。高校で学んだことを大学でレベルアップしたいと思っていたのですが、この大学で「林業」ではなく「森林業」と謳っていたところに新たな可能性を感じました。これからの時代に通用する最新技術や知識を身につけられるのではと考え進学を決めました。

入学してみると規模も内容も自分の想像以上に充実していると感じました。また経験豊富な先生方が、学生の学びたいという思いを日々応援してくれることでやる気がさらに湧いてきます。

そして志を同じくする仲間たちと数多く出会えたことも心強く感じます。第1期生ということで、これから私たちがこの大学の歴史を創っていくのだと語り合っています。

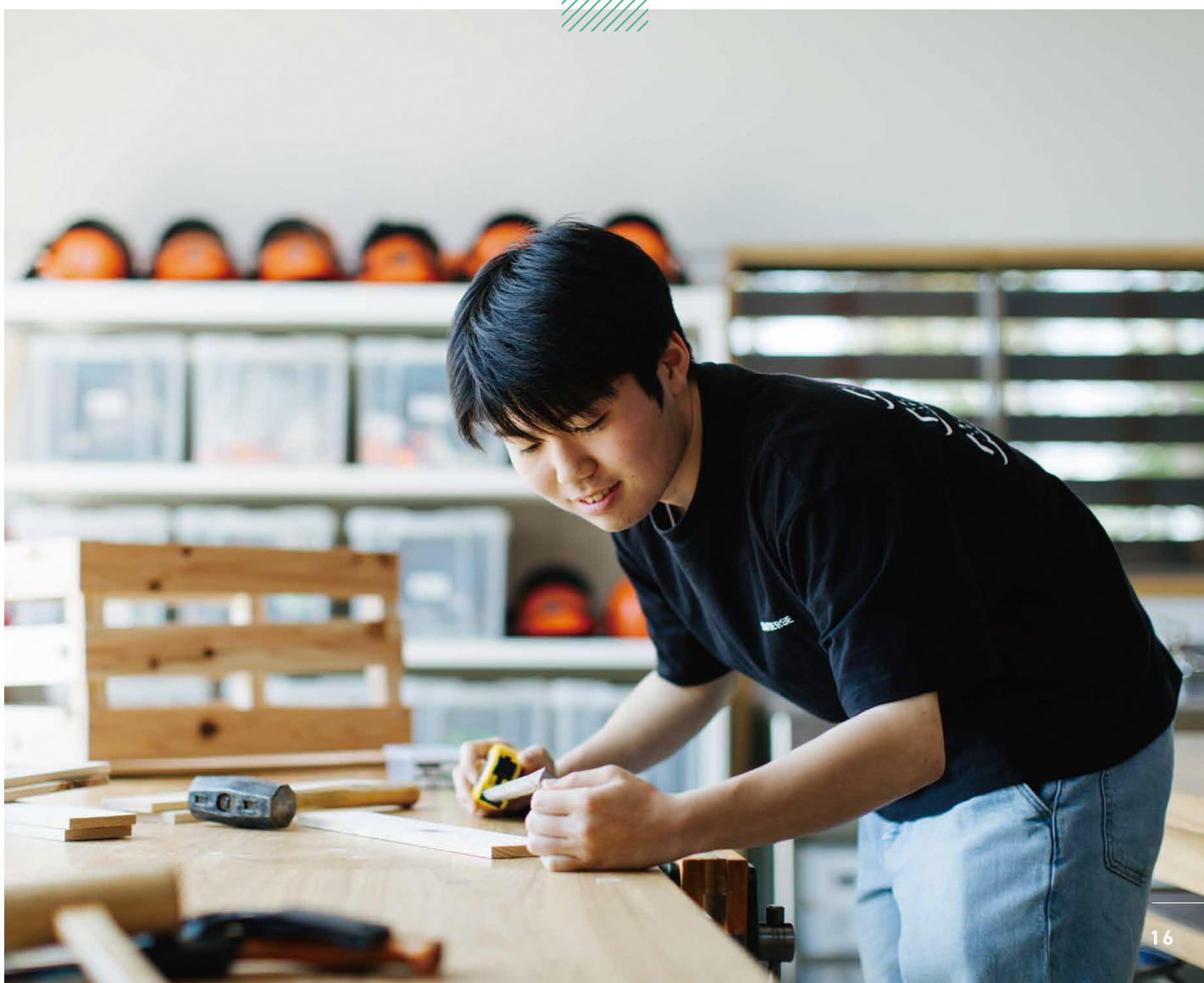
知識や実技を4年間しっかりと学び、将来は地元の村山市で、自然環境を生かしたグランピング施設を造るなど新しいビジネスに挑戦してみたいと思っています。

農林業経営学部 森林業経営学科

齋藤 優大

Yudai Saito

山形県立村山産業高等学校出身



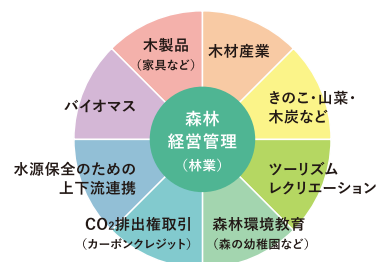
森林業経営学科

森林業の新しい価値を創造していく人材を育てる。

森林業経営学科では、従来の林業より幅広い、林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組む「森林業」の分野で活躍できる人材を育成します。環境問題や国際情勢の変化にも対応できる経営センスと、様々な機器の進歩をチャンスと捉えられるポジティブに考えられる人材を育成していきます。

「森林業」の概念

※林業を起点とした森林資源のフル活用



林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組み、時代の要請に応えるビジネスを構築。

学科の特長

1

森林業の「生産管理」と「経営管理」の両方の理論を学べます。

現場では機器の飛躍的な進歩により自動化、省人化が進み、労働環境も大きく変化しています。基礎から先進的な生産技術まで理解できるよう多角的なカリキュラムを用意しています。またしっかり事業として運営していくために、経営に関わる知識も学びます。さらに時代の動き、国際情勢を理解することなど柔軟な対応力を身につけることも大切なポイントです。

学科の特長

2

学内外での豊富な実習で学べます。

学内実習	学内演習林で基礎から先進的なものまで生産技術を学ぶ。学内加工施設で木材・加工・販売を学ぶ。
実地体験実習	優れた森林業事業体で経営実態の理解を深める。
臨地実務実習	東北6県の森林業事業体で、生産技術及び経営管理に関する知識、技術、経営戦略等を学ぶ。
国際農業・森林業実習(自由科目)	海外の大学や先進森林業地で森林業経営の実態を学ぶ。

学科の特長

3

幅広い分野が学べます。

本学科では森林業に密接に関連する分野も学修することができます(例えば、森林生態系サービス保全利用論など)。これらは将来の事業展開や経営のさらなる発展につながる可能性があります。

「臨地実務実習」は2年次から4年次まで毎年30日×3＝計90日間



林業ビジネス、
新しい働き方など、
可能性は多様です。

臨地実務実習先紹介 1

変革期にある森林事業。 その現場をリアルに体験してほしい。

有限会社庄司林業は県土面積の約7割が森林という森林王国・山形にあって、村山地区を中心に国有林、民有林の森林環境保全整備や育種管理事業を行っています。また消費者向けに食器類などの木製品や樹木系アロマオイルなど事業展開の多様化も試みています。森林に関わる仕事は近年、特殊大型機械の導入によってかなり省人化され、レーザー測量、森林情報管理のデジタル化なども進み、まさに変革期にあるといえるでしょう。当社で実習される方にはリアルな体験をしていただける環境を準備したいと思っています。



有限会社 庄司林業
代表取締役社長
庄司 樹

PROFILE
有限会社庄司林業
山形県西村山郡大江町大字沢口
842-12
<https://shoji-forestry.jp/>

4年間の学びのイメージ

4年

これまで学んだ生産管理及び経営管理の学びなどを**総合化**し、就職に備える。

3年

森林業経営に必要となる**経営管理**の学びを深める。

2年

自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした**生産管理**の学びなどを深める。

1年

森林業の**分野全般**にわたる講義・演習と実習などを通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める。

令和7年度学年暦イメージ

← 前期 →															← 後期 →																																												
4月					5月					6月					7月					8月					9月					10月					11月					12月					1月					2月					3月				
1	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	2	9	16	23	2	9	16	23				
ガイダンス					臨地実務実習 ウィーク					臨地実務実習 ウィーク					臨地実務実習 ウィーク					補講 テスト期間 夏季休業					臨地実務実習 ウィーク					臨地実務実習 ウィーク					臨地実務実習 ウィーク					冬季休業					補講 テスト期間					春季休業									

※週の欄の数字は、その週の月曜日の日にち。

※黄色が実習期間で、臨地実務実習6週、大学での授業は前期10週、後期12週。

※全ての「臨地実務実習ウィーク」で2日以上の実習を行い、前後期それぞれで15日の実習を行う。

学びで広がる世界（進路）

森林業経営学科

■ 森林組合 ■ 素材生産事業体 ■ 製材・木材加工事業体 ■ 森林業関連団体・企業 ■ 官公庁 など



地域資源としての山林は、
ずっと昔からSDGsです。

臨地実務実習先紹介 2

地域の山々を守りながら 多彩に事業展開する製材メーカー。

SDGsというキーワードをよく聞くようになりました。しかし元々山形の山々の木々は先祖が切っては植えながら活用してきた持続可能な資源です。1本の苗木を植えてから利用できるまで60年と、人間の一生の時間ほど。だからこそ大切に活用し、山々の環境を守ることに還元していかなければなりません。株式会社庄司製材所はより無駄なく効率的に木々を活用できるアイデアをメーカーに提供し、大型の製材機械の開発にも協力しています。また端材等を活用した木質バイオマスに商品も好評です。さらに木材の直販店、ウッドショップマルエスなど多彩に事業展開しています。



株式会社 庄司製材所
代表取締役
庄司 和敏

PROFILE
株式会社庄司製材所
山形県最上郡真室川町大字
大滝108-2
<https://maruesu.yamagata.jp/>